別記様式第７号の４（その３）（平29文科令37・追加、令元文科令９・一部改正）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

臨地実務実習施設の概要

<table>
<tr><td rowspan="6">施設に関する事項</td><td>名　　称</td><td colspan="7"></td></tr>
<tr><td>所 在 地</td><td colspan="7">（キャンパスからの移動方法　　（所要時間　　分））</td></tr>
<tr><td>施設の面積</td><td colspan="7">㎡　（うち主な実習場所の面積　　㎡）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">開設者・管理者，従業員数</td><td colspan="3">開　設　者</td><td colspan="3">管　理　者</td><td>従業員数</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td>人</td></tr>
<tr><td>事業の概要</td><td colspan="7"></td></tr>
<tr><td>当該施設の選定理由</td><td colspan="7"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">履修させる授業科目に関する事項</td><td rowspan="3">各授業科目</td><td>授業科目の名称</td><td>必修・選択・自由の別</td><td>単位数</td><td>履修予定学生数</td><td>施設実習時間数</td><td>受入予定学生・時間数</td><td>主な実習場所</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>単位</td><td>人</td><td>時間</td><td>人.時間</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>単位</td><td>人</td><td>時間</td><td>人.時間</td><td></td></tr>
<tr><td>全　　体</td><td colspan="2">計（　　科目）</td><td>単位</td><td>のべ　人</td><td>時間</td><td>人.時間</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">実習の実施体制に関する事項</td><td rowspan="4">実習指導者</td><td colspan="2">氏名</td><td colspan="2">所属・職名</td><td>実務経験年数</td><td colspan="2">担当授業科目</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td>年</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td>年</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td>年</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>その他の指導体制</td><td colspan="7"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実習受入期間・１日当たり実習時間</td><td colspan="5">実 習 受 入 期 間</td><td colspan="2">１日当たり実習時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">年間　　日</td><td colspan="2">時間</td></tr>
</table>

その他	他の学校等からの校外実習受入れ予定	他の学校等の名称	受入れ人数	受入期間
			人	年度　年間　　日
			人	年度　年間　　日
	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置			
	備　　考			

（注）

1　この書類は，使用する臨地実務実習施設について作成すること。

2　「施設の面積」の欄の「うち主な実習場所の面積」は，当該施設の実習場所のうち，特に継続的又は反復して使用する部屋等の全部又は一部の場所で，臨地実務実習の教育活動における中心的な場所として使用する部分の面積を記入すること。

3　「履修させる授業科目に関する事項」の「全体」の欄の「履修予定学生数」の計は，各授業科目の履修予定学生数を合計したのべ人数を記入すること。

4　「実習指導者」の欄は，実習指導者の数に応じ，適宜枠の数を増やして記入すること。

5　「他の大学等からの実習受入れ予定」の欄は，受入れを予定する他の大学等の数に応じ，適宜枠を増やして記入すること。

6　「他の大学等からの実習受入れ予定」の欄の「受入れ人数」は，受入れを予定している学生等の人数を記入すること。